



ありがとう



幌呂小

令和6(2024)年11月30日

令和7(2025)年 3月31日

幌呂小学校105年。

幌呂中学校77年。

両校は今年3月末をもって、その長い歴史の幕を閉じました。

これまで両校を支えていただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

HORORO forever (鶴居村教育委員会)

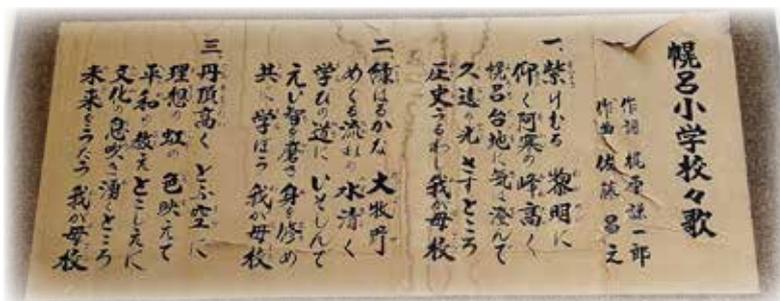
### タンチョウ保護活動

- ・タンチョウへの給餌活動は、昭和27年、猛吹雪で衰弱したタンチョウを発見した幌呂小学校の教師と児童が、苦労の末、給餌に成功したことに始まり、その後、幌呂小学校・幌呂中学校では、児童・生徒によって、餌となるデントコーンの栽培や収穫、精製を行い、それぞれの学校のグラウンドに給餌場の目印になる「ニオ」を設置し、冬季間は交代でニオの周りに餌をまいて、毎日飛来するタンチョウを観察してきました。
- ・こうした両校の取組が、一時は絶滅したと思われていたタンチョウの個体数回復に結びついたと言っても過言ではないと思います。
- ・閉校後もこうした保護活動が地域のお力で継続されていくことを期待しています。



### 幌呂小学校の歴史

大正8年	開校(舌辛尋常小学校幌呂特別教授場)
大正14年	幌呂尋常小学校に昇格
昭和2年	現在地に移転
昭和27年	タンチョウ給餌活動開始
昭和29年	農林大臣表彰受賞「愛鳥教育」
昭和36年	校舎改築
昭和52年	屋内体育館新築
平成3年	新校舎竣工
令和元年	開校百周年記念式典



# 学校 幌呂中学校

## 日 閉校記念式典 日 閉校



### 学校の歴史は地域の歴史 地域の歴史は学校の歴史

- 幌呂小学校は大正8年開校。幌呂中学校は昭和22年開校。両校の長い歴史は、幌呂地域の人々が支え、地域とともに歩んだ歴史そのものです。  
特に、幌呂小学校の開校当時は、現在と異なり道路などの生活基盤の整備が十分になされていない厳しい時代でした。入植間もない困難な生活の中にあっても、学校の建設・運営を地域の多くの方々が支えました。以後、今日まで脈々と子供たちへの愛情と教育への熱意が地域に受け継がれてきました。
- こうした地域の期待に応え、両校では歴代校長・教職員には、地域との連携・協力のもと、並々ならぬご尽力をいただき、開校以来、幌呂小学校1492人、幌呂中学校1033人の卒業生が村内はもとより、各界でご活躍されています。

#### 校長先生からのメッセージ

幌呂小学校・湯川朋広校長（第25代）

幌呂の子どもたちは、地域の平和で温かな愛情に包まれて、培われてきた幌呂の文化を礎に、確かな学びを積み重ねてきています。幌呂の子どもたちは、歩む未来の社会を、幌呂での経験を活かして、しなやかに、たくましく生きていってけると信じています。

幌呂中学校・秋山 豊校長（第27代）

閉校は終わりではなく、新たな輝かしい未来へのスタートです。幌呂の子どもたちは力強く未来を切り拓いていくものと確信しています。そして、幌呂地域の方々全員が未来が幸多きことを心から願っております。

### 3.24 幌呂中お別れ会

- ・ 3月24日、地域の方も参加して幌呂中学校のお別れ会が開催されました。
- ・ 生徒代表から教育長に幌呂中学校の校旗が返還されました。
- ・ 生徒と教職員が車座で、幌呂中の思い出と感謝を語り合いました。
- ・ 生徒から教職員へのサプライズ・プレゼントも！



#### 幌呂小学校の歴史

- 昭和22年 開校
- 昭和24年 新校舎落成
- 昭和61年 校庭にタンチョウ初飛来
- 昭和62年 新校舎落成
- 平成3年 日本野鳥の会全国大会表彰
- 平成9年 開校50周年記念式典
- 令和5年 ラムサル条約締結30周年記念シンポジウム温原学習発表
- 令和7年 タンチョウ再発見から100年記フォーラム学習発表

